

## 2. 事業概要

### 教育研究の充実

- 1 学生の学習意欲を高めるため、展示用教材では「CVT 動作モデル」を購入した。
- 2 ハイブリッドに焦点を当てた実習科目を開設し、救命救急講習を受講しなかった 16 名を除いて、2 年生 51 名に低圧電気取扱業務の特別教育を修了させた。
- 3 基本の確認や学生が不得意な分野への指導を中心に国家試験対策のゼミを行った。
- 4 新たに 1 年生対象の 2 泊 3 日の学生研修旅行を実施した。
- 5 第二種電気工事士資格取得に向けた科目を設置し、3 名の最終合格者を出した。
- 6 大西徳生客員教授の特別講義「二次電池の利用技術について」を実施した。
- 7 専攻科車体整備工学専攻の塗装の教育内容を、機器とともに一部更新した。また、水性塗料講習、ボディーコーティング研修会を開催した。
- 8 SPOD 講師派遣により「ティーチング・ポートフォリオ入門」(FD) 2 「スタッフ・ポートフォリオ入門」(SD) を始め、SPOD 研修の利員用を推進し、FD・SD 活動を進めた。またカウンセラーによるカウンセリング研修会も実施した。
- 9 学内の共同研究推進のため共同研究充実費を設けている(2 年目)。電動スポーツバイクなどを対象とした。

### 施設・設備の充実

- 1 ハイブリッド実習に向け、2 号館の改修を実施し、機器備品の準備

を終えるとともに、PHV1 台を購入した。

- 2 専攻科車体整備工学専攻の設備(塗装)を一部更新した。
- 3 実習場の老朽化対策、不具合箇所補修を進めた。

### 学生支援の充実

- 1 個別指導により就職指導を進め、希望者中 97% の就職を実現した。
- 2 緊急雇用制度を活用して非常勤講師を採用し、入学前教育を含めて留学生の日本語能力強化を図った。
- 3 家庭の経済的負担軽減のため、平成 23 年度から実習用工具を大学で準備、貸与した。
- 4 徳島県緊急雇用制度を活用し、嘱託司書を採用し、学生の図書館利用の便宜を図った。
- 5 禁煙、携帯安全教室、薬物人権教育を実施している。
- 6 カウンセラーと学生相談室が連携し、問題行動への対応を行った。

### 広報活動の充実

- 1 教育職員の高校訪問や説明会参加、沖縄、離島を含めた出張授業を継続して実施している。
- 2 また出張授業のための新規教材を準備するとともに、すべての教育職員が行える出張授業のテーマを設定している。
- 3 職員が、卒業生や知人に大学案内の設置、ポスターの掲示を訪問依頼した。
- 4 ブログ、新着情報の更新を徹底励行している。
- 5 オープンキャンパスなどの実施について、委員会で点検・評価し、より効果的な広報計画を検討した。
- 6 オープンキャンパスと合わせて、地元民に対してマイカー点検教室を実施し、本学への理解を促した。

- 7 女子学生、社会人の受入促進を図るべく、奨学制度、授業料等減免措置や受験制度をアピールした。社会人については平成 24 年度入学者を得た。女子についても平成 25 年度募集につながるアピールができた。
- 8 カスタムカーフェスタ、トラックマスターズに車体整備工学専攻で塗装した軽トラックを展示し、後者では **Hot Truck** アワードを得た。
- 9 徳島ポリテイスとのタイ・アップで、県内他大学、高校等と協力して、鳴門ポカリスウェットスタジアムでスタジアム学園祭を実施した。
- 10 地元企業の依頼により同企業主催の産業フェスタに本学電気自動車を出展した。

#### 産官学連携

- 1 徳島県の教員研修に、昨年に続き 2 講座を提供するとともに、香川県にも 1 講座を提供した。また教員免許更新講習も選択領域で 2 テーマ実施した。
- 2 あすたむらんどからの依頼を受け、ソーラーカー 3 台を製作した。
- 3 徳島地方検察庁職員対象の研修を実施した。
- 4 広島県立福山工業高校へのエンジン寄贈を行った。
- 5 鳴門商工会議所のコンバート EV 制作に協力した。
- 6 地元企業からの依頼により、燃費性能試験を実施している。

#### 国際親善の進展

- 1 県や美馬市の協力を得て、中国湖南省や雲南省の教育機関との提携交流を推進した。
- 2 留学生後援会活動の活性化のため、役員を増やした。

#### 自己点検・評価の推進

- 1 保護者会総会に合わせ、参観授業とその後の評価活動を実施している。
- 2 2 年間の自己点検・評価活動をまとめた。
- 3 理事者から各教員に対して、教育、業務活動についての指示事項を示し、それに対しての報告書をもとに前・後期末にヒヤリングを行い、次期、次年度の活動改善につなげた。

#### 同窓会活動

- 1 学内役員が、会議等を通じて、外部から見た本学についての参考情報を得ている。
- 2 近畿地区同窓会に本学職員も参画し、卒業生との交流、情報交換に努めた。

以上

\*決算書の内容については、別紙「平成 23 年度決算の要約」に記載する。